医療機関のご担当者様

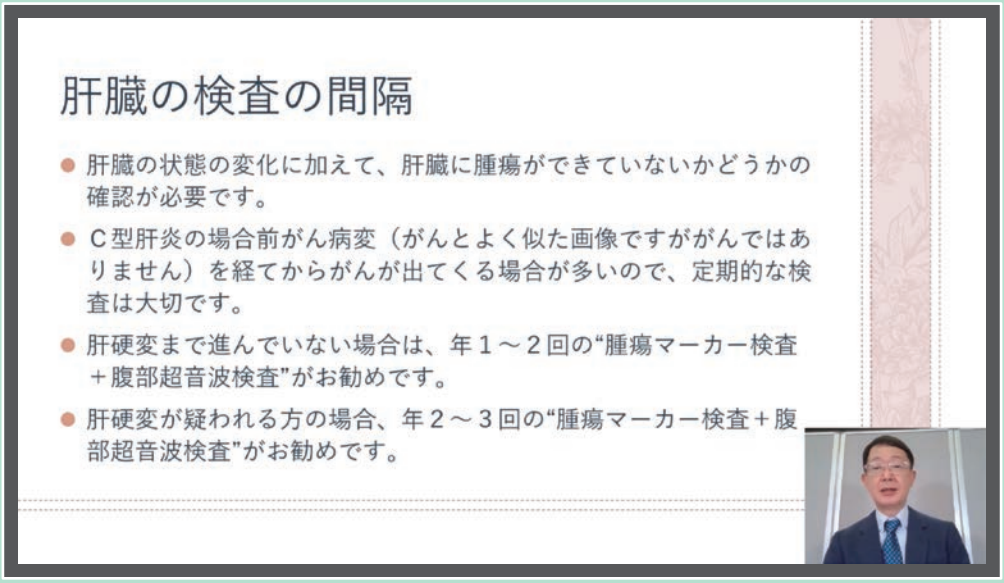
「こころのまなび」にてがん患者の心のケアについての動画を配信中
https://square.umin.ac.jp/kenko/kokoronomanabi.html

本ニュースレターを薬害HIV感染被害者の皆様に配布しております。医療機関の皆様もご査収いただければ幸いです。

がん検診

がんは早期発見が大切、検診を受けましょう

肝 臓 を 大 切 に



被害者の皆様の年齢があがり、がんの合併が増えてきました

被害者の皆様は年齢を重ねられ、生活習慣病と共に、がんの合併が問題になってきています。
被害者の皆様に見られるがんで最も多いのがC型肝炎ウイルスによる肝細胞がんです。発生するがんの約４割が肝細胞がんです。ウイルスを抗ウイルス薬で排除した後でも肝細胞がんは発生する場合が あり、定期的な検査が必要です。
今回はC型肝炎ウイルスによる肝細胞がんに関して被害者の皆様に知って頂きたいことを動画にしてみました。よろしければぜひ一度ご覧になってみて下さい。
どのがんも同じですが、肝細胞がんの場合も健康診断を受けて頂き、早期に発見して頂くことが大切です。ブロック拠点病院には様々な検診プログラムがありますが、今後少しずつ検診を受けて頂く機会を広げていきたいと思います。

東京大学医科学研究所　四柳　宏

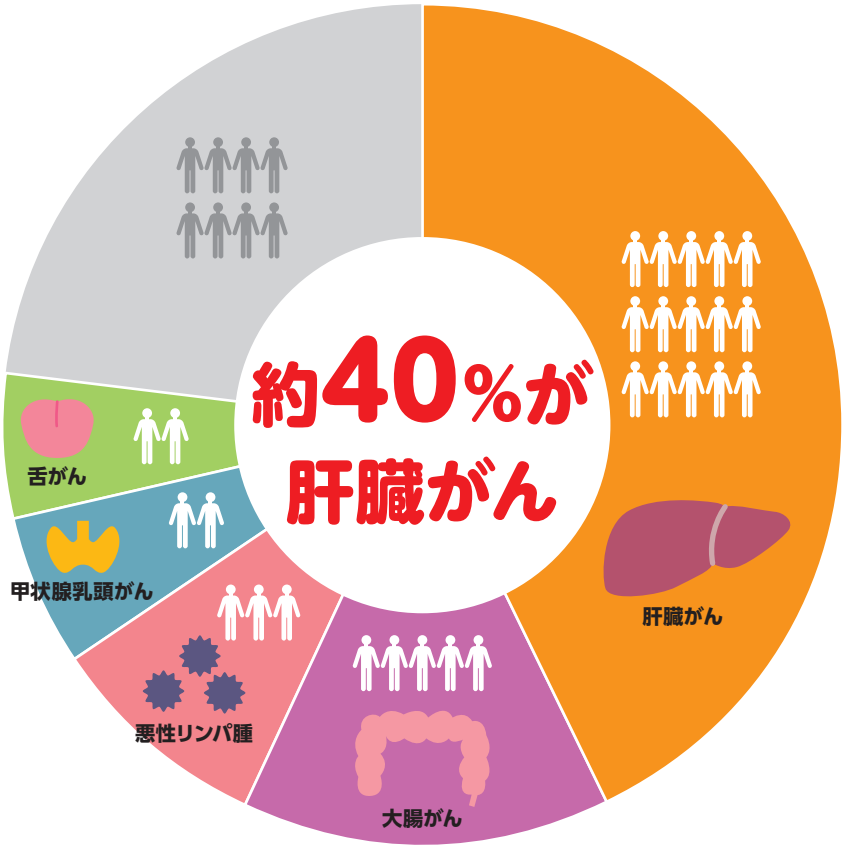
がん検診で悩んだら以下にご相談ください。研究班で検討の上、回答します。

非加熱血液凝固因子製剤による
HIV感染者に合併する悪性腫瘍の
制御を目指した研究
kenko@ims.u-tokyo.ac.jp

厚生労働行政推進調査事業費（エイズ対策政策研究事業）　非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染者に合併する悪性腫瘍の制御を目指した研究

薬害HIV感染被害者が罹患したがんの種類（2015年から2022年の報告）

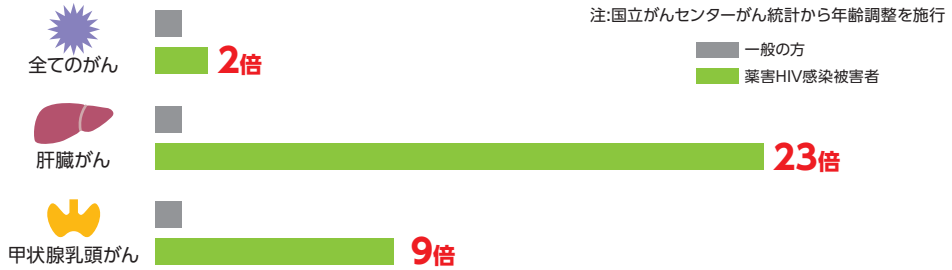
C型肝炎の治療薬により肝炎ウイルスが排除されても、「肝臓がん」が発生する可能性があることがわかってきました。
40歳以下の発癌も報告されています。50歳以下でも、定期的な検診が必要です。
がんは、早期に発見して、治療する時代になりました。検診を受けましょう。



悪性腫瘍種類

2015年から2022年に診断された悪性腫瘍について調べました。肝臓がん（43%）、大腸がん（14%）、悪性リンパ腫（9%）、甲状腺乳頭がん（6%）、舌がん（6%）の順で頻度が高いです。

一般のかたとくらべて、全てのがんで2倍、
肝臓がんでは23倍、甲状腺乳頭がんでは9倍のリスクがあります



標準化がん罹患比

出典：Non-acquired immunodeficiency syndrome defining malignancies in people living with haemophilia and human immunodeficiency virus after direct-acting antiviral era
Global Health & Medicine. 2024; 6 (5): 316-323　より改変

厚生労働行政推進調査事業費（エイズ対策政策研究事業）
非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染者に合併する悪性腫瘍の制御を目指した研究

研究代表者　東京大学医科学研究所　先端医療研究センター感染症分野　四柳 宏
URL:https://square.umin.ac.jp/kenko/ Email:kenko@ims.u-tokyo.ac.jp